

平成30年度協働事業提案制度提案概要

事業名	プレーパーク推進事業
団体名	きたひろプレーパークの会
事業概要	プレーパーク(冒険遊びの場)の開催、プレーリーダーの養成、プレーパーク普及のための勉強会の企画、開催を目的とする。 市民にとってはプレーパークでの自由な遊びから様々な経験と達成感が得られること、少子化の中で閑散としがちな公園の活性化が事業効果として期待できる。
協働の必要性	現在プレーパークを開催しているが、開催にかかる保険料等の経費が負担になっている。 また、遊びを見守り安全に気を配るプレーリーダーを配置できず手探りで開催となっている。 協働することでプレーパークの継続性を高め、プレーリーダーを配置したプレーパークを開催したい。またプレーリーダーの養成もおこないたい。
役割分担	<p>団体が担う役割</p> <ul style="list-style-type: none"> プレーパークの企画、開催等 プレーリーダー養成講座の企画、開催等 <p>市に期待する役割</p> <ul style="list-style-type: none"> プレーパーク開催にかかる保険料等の費用の負担 プレーリーダー養成講座にかかる費用の負担 チラシの配布協力等
協働の効果	<p>団体にとっての効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 市と協働することによってプレーパーク開催の継続性を高めることができる。 プレーリーダー養成講座を開催することによって、プレーリーダーを置くことができるようになるという効果が期待できる。 <p>市にとっての効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊ぶ場や公園の活性化 「北広島市子どもの権利条例」に規定された「3.教育を受けたり遊んだりできる、健やかに育つ権利」の具現化について、ひとつの例をつくることことができる。
団体の目的	<p>子どもの「遊ぶ」という行為の保障のため、次の各号に掲げることに注意を払い、プレーパークの開催その他の活動を行うことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰でも、いつでも、遊び場に来て自由に過ごすことができる。 身近な地域に根ざした遊び場の創出 子どもが自由に想像しつくりかえのできる要素がある物品や場所の提供 多世代交流の場及び誰もが自己肯定感を得ることができる場の創出
過去の活動実績	<p>月寒プレーパークの会視察 プレーパークの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017.10.15 大人28名 子ども42名 ・2018.1.21 大人14名 子ども20名 ・2018.3.18 大人18名 子ども18名
市関係希望部署	教育委員会(社会教育課)、子ども家庭課、 希望理由:遊びを通して子どもの健やかな育ちを実現する趣旨であるため。